

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動名	栃木農業高校の里山再生授業「棚田づくりと生き物調査」の指導	
活動団体名	NPO 法人 栃木県環境カウンセラー協会	
活動目的	栃木農業高校の裏山の棚田づくりにできたての田んぼにどんな虫がやってきたか?学生たちと一緒に観察・指導をしました。2023.6.11	
活動内容	生徒たちが作った出来たての田んぼの水辺にどんな昆虫が生息するか、また、棚田とそれを取り巻く水環境としての用水堀やため池、ビオトープ等に住む生き物も紹介して、里地里山の水生動物の多様性について説明をしました。 特に、オニヤンマの幼虫やホタルのエサのカワニナなどが見付き、豊かな環境であることもアドバイスしました。	
活動写真 日テレ TVer より撮影しています。	 5月下旬 栃木農業高等学校	 栃木県環境カウンセラー 塩山 房男さん
	 ゲンゴロウ類の幼虫	 里山再生を行えば 生き物も増え生物多様性の高い良い環境になる
写真説明	生徒が作った田んぼと水辺の昆虫生息	栃木県環境カウンセラーの塩山さん
活動効果	日テレ「所さんの目が点!」農業高校の里山再生(2023.7.16 放送)で放送されました。TVer でその内容を視聴できます。	

今後の展望

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」という言葉があります。生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを意味します。今日E S Dは、すべての教育段階において推進されており、新学習指導要領や第3期教育振興基本計画にも「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられています。その実践のためのカリキュラム・デザインや、学校内外での連携方法の促進を充実していきたい。

活動日 2023年 6月11日～2030年6月11日